

平成21年11月18日(水) 全国理事会 原田理事長 挨拶



原田理事長

全国の理事・参与の皆様、本日は公私ともご多忙のなか、多数ご出席いただき、誠にありがとうございます。季節はもうすっかり冬を迎えております。本日は、今年最後の全国理事会であり、重要議案を多数上程しております。

まず、第1号議案では、平成22年度第20回全国パチンコ・パチスロファン感謝デーにおける幹事商社を選定していただきます。ご存知のように、ファン感謝デーは、ファンの皆様に日ごろの感謝をこめて全日遊連が開催している大変重要な全国的イベントです。よりファンの皆様に喜ばれるファン感謝デーが開催できるよう、慎重なるご協議のうえ、幹事商社の選定をお願いいたします。

第2号議案では、遊技産業健全化推進機構の経費負担方法について上程しております。のちほど大城担当副理事長から説明がありますが、前回の全国理事会以降、各委員会の場において皆様にも充分ご協議いただいておりますが、本日

は、暫定的な状態に終止符を打ち、一定の方向性を導き出すべく、決議させていただきたいと思っております。

報告事項では、11月5日に開催された4団体代表者懇談会についてご報告させていただきます。当日は、いずれも重要案件を協議いたしました。中でも、他団体に対するリカバリーサポート・ネットワークへの支援要請は、当日西村代表にもご出席いただき、現状説明をしていただいたところ、各団体から前向きに検討していただける手応えを得ることができました。今後も4団体代表者懇談会、さらにはパチンコ・パチスロ21世紀会まで拡げ、リカバリーサポート・ネットワークを業界全体で支援できる体制が構築できるよう協議を進めてまいりたいと思っております。

環境問題の取り組みについて、2008年度のホールにおける電気使用量調査の回収が終わりました。のちほど山本担当副理事長からも報告がありますが、昨年を上回る回答率を得ることができまし

た。2008年度の調査結果は極めて重要な数字であることをご理解いただき、組合員へご指導いただきました皆様、心から御礼申し上げます。

毎年国税庁が発表している平成20事務年度における法人税の調査実績について、本日一部抜粋した資料を配付しております。結果から申し上げますと、我々の業界にとつて、大変不名誉な結果でありました。全日遊連では、かねてから継続的重点推進事項として「適正納税の推進」を掲げております。各都府県方面組合におかれては、経営者・店長研修会・セミナー等で、組合員に向けた適正納税意識の啓発活動を積極的に行っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

さて、明日は、遊技会館において全国専務理事及び事務局局長会議が開催されます。会議に先駆け、本日の理事会終了後、懇親会が開催されます。全日遊連の取組の周知と、組合員との連携、組織力の強化に日々ご尽力いただいている全国

の専務理事、事務局長の皆様には、日ごろの労をねぎらい、また親睦の場として、ぜひご歓談いただきたいと思います。

最後に、政権交代等で激動の今日、私たち遊技産業は国民的大衆娯楽として、健全経営により一般社会から愛され親しまれるべく、努力を続けてゆかなくてはなりません。全日遊連という組織一丸となった施策があつてこそ信頼を得、業界の安定につながつてゆくのだと思っております。

業界の健全化を目的として、遊技産業健全化推進機構が第三者機関として設立された経緯については、理事・参与の皆様は充分ご理解されておられると思います。また、業界14団体による21世紀会では、パチンコ・パチスロ業界の安定的發展に向け、総親和のもと取り組んでいきます。

本日上程している議案について、理事・参与の皆様におかれては厳しい現状の中ではございますが、痛みを超えてご理解をいただき、全日遊連が業界のリーダーたるべく仕事をさせていたいただきたいと思っております。重ねてご理解ご協力をお願い申し上げます。

本日の理事会も、有意義な協議と、充分なご審議をお願いいたします。理事長挨拶とさせていただきます。